

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	現代のビジネスを学ぶ (Fundamentals of Contemporary Business)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	現代社会の中での経営学について		
担当者名 (Instructor)	石井 泰幸(ISHII YASUYUKI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2200	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2016年度以降1年次入学者対象科目		

授業の目標(Course Objectives)

現在、コロナ禍によって、わが国のビジネスは否応なくスマート社会へと移行せざるを得なくなっている。とはいえ、ビジネスを支えているのは人である。それゆえ、高度にスマート化された情報ツールがどれだけビジネスに展開されようとも、そこには有効な経営学が常に必要とされるのである。そこで、本講義では現代を生き抜くための経営学について学んでいく。

Today the coronavirus pandemic forces business in our country to accelerate the transition to smart society. It is people, however, who support business. Therefore, the ideas of management is required to learn, however advanced IT tools may be. In this lecture, we will learn management, which enables us to survive modern society.

授業の内容(Course Contents)

経営学は、領域学とも呼ばれ、様々な学問を包摂している。この講義は学部を問わず、全学の学生を対象としており、経営学は領域学であるからこそ、全ての学生に役立つものである。このことに鑑み、本講義では企業で有効とされる経営理論とその企業の形態の基礎について学ぶ。

Management includes such various academic fields that it is often called domain science. This class aims at all undergraduates and management is useful to everyone because it is the domain science. In view of this point, we learn the basis of management theory which is thought of as valid in business and the formation of business.

授業計画(Course Schedule)

1. ガイダンス
2. テイラーの科学的管理法
3. ファヨールの管理過程論
4. 人間関係論
5. バーナードの組織論
6. サイモンの意思決定論
7. 経営組織の基本形態と発展形態
8. 現代企業の諸形態
9. 日本の株式会社①(監査役設置会社)
10. 日本の株式会社②(指名委員会等設置会社)
11. 現代企業の社会的責任
12. 現代の企業倫理
13. 環境経営
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

本講義では、それぞれの授業前に課題を設定するので、それに対する予習・復習を皆さんにお願いしたいと考えている。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%) / 毎回の授業時レポート(60%)

テキスト(Textbooks)

1. 浦野倫平・佐久間信夫編、2021、『経営学原理』、創成社 (ISBN:978-4-7944-2579-9)

参考文献(Readings)

1. P. F. ドラッカー、2001、『マネジメント[エッセンシャル版]』、ダイヤモンド社 (ISBN:4-478-41023-2)
- その他、授業中に適宜指示する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

